

1 事業実施の成果

部署	目標	成果			摘要
会 員	正会員 25名 協力会員 28名 利用会員 150名	正会員 25名 協力会員 27名 利用会員 149名			協力会員増加を目指していたが減少してしまった。
職 員	令和4年3月31日現在	正職員	パート	計	備 考
	管理事務	1	1	2	必要に応じて職員の増加を図る。
	支え合い活動	1	0	1	
	よってこ・だんだん	0	0	0	
	グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ	8	10	18	
	デイサービスセンター喜楽	3	4	7	
	多機能ケアの喜楽	8	13	21	
	訪問介護の喜楽	3	4	7	
	ケアプラン介護相談の喜楽	4	2	6	
	地域密着デイの喜楽	4	3	7	
	計	32	37	69	
法人役員	理事長 恩田 初男 副理事長 増田実保子 監事 赤坂 一郎	理事 鴫田富美夫 理事 佐藤 富代 理事 大沼 節子	理事 原島 秀克 理事 陶山 典子 理事 曾根 勝 (成島北区長 職)		
部署	目標	成果		摘要	
法人全体	① 法人の安定経営を前進	令和3年度利益 予算：297万円 実績：632万円		目標達成。 予算より335万円利益が多い。 今後も安定するよう継続する。	
	② 働きやすい職場の構築 チェック&アクション25の実施・改善項目を確定、改善計画の策定、改善の実施	8月、職員全員に現状調査を行った。11月～3月メンバーによる会議にて計画を策定した。		遅れなく取り組んでいる。本年度改善実施予定。	
	③ 虐待に対する一時避難所の設置を進める	2021年12月に一時避難所の設置が完了。年度内には2件の利用があった。		目標達成。今年度にも利用があったため一時避難所には需要があると思われる。今後も活動を継続する。	
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」				
	① 協力会員 28名 利用会員 150名 チケット販売目標 900円券 3,000枚 450円券 1,600枚 500円券 5,000枚 100円券 5,500枚	① 協力会員 27名 利用会員 149名 チケット販売実績 900円券 2,556枚 450円券 1,565枚 500円券 4,636枚 100円券 5,175枚		昨年度とほぼ横這いの実績となった。 ⇒ 85% ⇒ 98% ⇒ 93% ⇒ 94%	

	② 運転協力者を2名増員する	増員0名	会員募集説明会等を開催できなかった。
	③ 利用者の思いを体感する (例: ストレッチャー、車椅子、他)	⇒ 60%	全員が出来た訳ではなかった。 (出来ない人もいた)
地域の居場所 よってこ松沼	理念「人とのつながりをつくり笑顔になれるところです。」 ① 美味しく食べて健康になれる居場所になる ② 営業日には必ず10分間体操を行う 新型コロナウイルス感染予防対策で、人と人との交流を控えたため、目的は達成できなかった。7,8,10,11,12,1月の11時~14時のみ営業。		
グループホーム 喜楽	理念「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしくあなたと共に暮らします。」 ① お年寄りが安心して暮らせる支援をする 職員が笑顔を基本に支援を行うことでお年寄りの笑顔も増えた。 お年寄りの安心の一部になった。 今後も継続していく。		
	② 認知症の学習会を毎月職員会議で行う	R3.4月~9月実施。	後半は学習会を行えなかった。今後は会議前の10分間で行うこととする。
	③ お互いさまネットワーク 法人内の職場への研修 (交換研修)	GH喜楽II⇒GH喜楽へ3名研修。	グループホーム間の研修は行えたが他事業所へは職員不足のため出来なかった。
デイサービス センター喜楽	理念「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもう一つの家です。」 ① 利用者がデイサービスに通うことにより在宅生活が安定する。 年度末に家族アンケートを実施し家族より良くなったと回答をいただいた。 達成率80% 在宅生活が長く続けられるよう支援していきたい。		
	② 介護技術の統一と向上	会議の中で今年は認知症をテーマに学習することができた	達成率60% 学習したことを現場で実践する。
	③ 利用者の確保を図り加算を取れるように努める	利用者確保には至らなかったが、入浴計画を作成し加算を取ることはできた。	達成率50% 安定した利用者の確保となるように努力する。
多機能ケアの 喜楽	理念「一人ひとりが主人公。私たちは、あなたらしい生活を地域の中で、ご家族と共に柔軟に支えます。」 ① 感染症に負けないよう環境を整え、利用者・職員の心身の健康を保つ 2月、利用者・職員にコロナ陽性者が出た。コロナ以外にも体調不良で休む職員が多く仕事に支障があった。 基本的な感染予防策を見直し、体調管理を行っていく。		
	② 報連相の徹底	時々伝達の誤りや報告忘れがあった。	引き続き、目標に挙げて報告を徹底していく。

	③ 安定経営を維持する (平均 24 名以上)	4月～1月は 24～25 名をキープしていたが2月、3月は減った。	今後1カ月に1人程度ずつ新規利用者を獲得し、徐々に増やしていく。
地域密着デイ の喜楽	理念「私たちは、本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。」		
	① 10月までに契約人数を 25人に増やす	9月末日で契約人数24人。 請求人数は21人だった。	各居宅事業所へ営業に行ったことで利用につながった方もいた。
	② 職員をレベルアップさせる ために、月に1回学習 会を行う	未実施の月が3回あった。	移動介助の方法等、学習した内容をサービスで実践することができた。
	③ 情報収集シートを活用 し、個別ケアにつなげる	利用者の少ない月ではシート に書き込めたが、利用者が増えることに減っていった。	長年馴染んだ習慣や好み、現在の 状態、状況を知ることによって個別ケア に活かすことができた。
訪問介護の 喜楽	理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。」		
	① 担当ヘルパー同士の情報 交換の方法を見直し、よ り適切なサービスを行う	細かい情報交換により個々に 合ったサービスができた。	メモやメール、また口頭で情報交 換等の連絡を取り合った。
	② 効率よく統一したサービ スができるよう手順書を 整える	手順書を見ることで統一した サービスが可能に。また久し ぶりの訪問時も再確認でき不 安なくサービスができた。	新規利用者から作成し約半分は 完成した。今後も継続する。
ケアプラン介 護相談の喜楽	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① 利用者の生活を点から線 につなげていく	独居、認知症の利用者を中心 に食、内服管理を中心にサー ビスを提供することによりケ アマネの緊急対応が減少した。	モニタリングで評価し、気になる 利用者はその都度会議で検討しな がらケアプランを修正している。
	② 個々の利用者をチームで 支援していく	緊急時はケアマネが対応でき る体制を整えた結果、利用 者、他事業所の相談員は不安 を感じないようになった。	月1回の職員会議、週1回の検討 会議の他にもケアマネ同士で話し 合いを重ねていった。
	③ 月平均利用者数 要介護者 100 人、要支援者 50 人を支援していく	3月の実績 要介護 118 件、 要支援 50 件となった。 月平均 要介護 108 件、 要支援 48 件で目標を達成。	ケアマネ一人欠員の中、事務員を 置くことで一人39人までの利用 者が44人まで受け持つことがで き、目標以上の成果となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動です。	活動日数 310日 延べ活動回数 2,733回	利用者の 自宅他	延べ活動者 数2,856人	何らかの理由で日常生活に 困っている人延べ利用者数 2,983人
地域の居場所 よってこ松沼	地域の人々がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場として居場所を提供。今年度は、新型コロナ感染予防のため、随時の休業を余儀なくされた。 7,8,10,11,12,1月のみ営業	計30日 行い、 11時～ 14時で 営業した	館林松沼町 「よって こ松沼」	担当理事 2名 スタッフ 延べ99人	延べ来所者 399人 営業日数合計 30日 1日平均 13.3人
グループホーム 喜楽の事業	介護保険において認知症の人へ共同生活 住居において、介護や生活支援サービスを 提供し、地域との繋がりを大切に して喜びと安らぎを持って生活してもらう 事業	365日 24時間	グループ ホーム喜 楽・喜楽 Ⅱ	管理者1名 看護師1名 正職介護職 員 7名 パート介護 職員 9名 計18名	認知症のため自宅での生活 が困難な人 喜楽 9名 喜楽Ⅱ 9名 共用デイ 1名 計 19名
デイサービス 事業	介護保険において認知症の人の自宅での 生活を支えるための通いの介護サービ ス事業	310日 日曜日休 業及び 12/30 から1/2 休み	デイサー ビスセン ター喜楽	管理者1名 正職介護職 員 2名 パート介護 職員 4名 計 7名	館林在住で認知症のある方 契約者 25名 延べ利用者数 2,776名 1日平均 8.95名
多機能ケアの 喜楽の事業	利用者個別の利用の仕方に対応し、通所 ・訪問・ショートステイを組み合わせた 支援を行う。地域連携として、民生委員 、医療機関、利用者がよく行く店や食堂 、地域の住民と連絡を取り合っている。	365日 オープン 日以来休 業日無し	通所、泊 り訪問を 組み合わ せた利用	管理者1名 (看護師兼 務) 正職員7名 パート13 名 計21名	柔軟な利用に対応するため 職員の増員を含め、配置を 考えていく。 契約者数 18名
地域密着デイ の喜楽の事業	介護保険において自宅での生活を支える ため通いの介護サービスを行う事業	日曜日休 業及び 12/30 から1/2 休み	地域密着 デイの喜 楽	管理者1名 看護師2名 (相談員兼 務1名) 正職介護職 員 2名	契約人数 28名 延べ利用者数 2,165名 1日平均 7.0名

				パート介護職員 2名 計 7名	
訪問介護事業	介護保険において自宅での生活を支えるために訪問して介護・家事援助を行う事業	日曜日休業及び 12/30から1/2 休み	利用者の 自宅に訪 問	管理者1名 正職員2名 パート介護職員 4名 計 7名	自宅で介護・家事援助の必要な方 利用者数 60名 介護 35名 予防 25名
ケアプラン介護相談事業	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	日曜日休業及び 12/30から1/2 休み	ケアプラン介護相談の喜楽事務所	管理者1名 介護支援専門員 4名 事務員1名 計 6名	介護サービスが必要な方 利用者数 168名 要介護 118名 要支援 50名
関連事業 ・認知症の人と家族の会 「家族のつどい」事業 生活支援体制整備事業勉強会・協議体会議参加	公益社団法人認知症の人と家族の会が開催する「家族のつどい」東毛地域を担当した。認知症の人を介護している家族等の交流を開催。家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る。 県及び東毛地区の各自治体が開催する勉強会に1回参加した。	10回 開催	太田 館林 伊勢崎	世話人 延べ10名	認知症の人を介護している家族等 延べ参加者約 43名 介護予防、日常生活支援総合事業への移行について検討した。
会報の発行	年3回会報を発行して活動の内容を広報している。43号は多々良地区近隣にミニカレンダーと共に4500部のポスティングを行った。	年3回 発行日	5900部印刷 令和3年 7月25日 令和3年11月25日 令和4年 3月25日	会員・サービス利用者等に配布 第42号(700部) 第43号(4500部) 第44号(700部)	
ホームページ	最新情報を日々入力し、毎月15日には部門ごとにブログを更新するよう努めた。求人情報も適時更新している。	http://otagaisamaegao.net/			

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
	収益事業の実施はありませんでした。			

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

第22 回定時社員総会の開催

- ・日時 令和3年5月7日（金曜日） 午後6時00分～7時30分
- ・会場 成島北区民会館 群馬県館林市北成島町 2881-2
- ・議題 第1号議案 令和2年度事業報告・収支報告 監査報告
第2号議案 令和3年度事業計画・収支予算
第3号議案 役員変更の件
第4号議案 コロナ緊急対策融資について

・その他

(2) 理事会

事業計画に基づき事業の進捗状況や事業に対する意見や検討を行っています。

理事会はデイサービスセンター喜楽を会場とし18時～20時で開催しました。

	開催日	主な会議の内容
第1回	3年4月30日	令和2年度決算概要・令和3年度法人目標・総会について
第2回	3年6月18日	年度目標確認・今後の介護披見の動向について・賞与支払い
第3回	3年7月16日	リフト浴整備・昇給・チェック&アクション25実施・一時避難所設置
第4回	3年9月17日	リフト浴整備・チェック&アクション25実施・一時避難所設置
第5回	3年10月15日	リフト浴整備・チェック&アクション25実施・一時避難所設置・個人面談
第6回	3年11月19日	中間決算・リフト浴整備・チェック&アクション25実施・一時避難所設置
第7回	4年1月21日	倫理規定設置・リフト浴整備・チェック&アクション25実施・一時避難所設置
第8回	4年2月18日	コロナ感染者発生のため中止
第9回	4年3月18日	各部署運営について・コロナ感染報告・チェック&アクション25実施 一時避難所・長期目標、年度目標

(3) 責任者会議

- ①行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有の会議を行った。
毎月第1火曜日・18時00分～20時00分 年間12回開催

(4) 支え合い活動

- ①協力会員総会報告会
②協力会員懇談会 コロナ禍により中止

(5) 「よってこ松沼」

- ①運営検討会 今年度は実施できませんでした。
②スタッフ会議

キッチンスタッフ・デイスタッフによる毎月行事予定、メニューなどの検討を行いますが、本年度は新型コロナウイルス感染予防対策が中心の話し合いでした。

	開催日	内 容
第1回	令和3年4月27日（火）	5月開始に向けての準備
第2回	令和3年5月27日（木）	6月営業中止を決定
第3回	令和3年6月29日（火）	7月は火と木の11時～14時の短縮営業を決定
第4回	令和3年7月27日（月）	8月も7月と同様の短縮営業を決定

8月の営業を7月と同様と決めたが2日しか営業できず、9月は営業自粛を決定 8月26日に予定した9月に向けてのスタッフ会議中止		
第5回	令和3年10月12日(火)	オープンするにはどうしたらよいか
第6回	令和3年10月26日(火)	来場者とスタッフの役割、今後の勉強会について
第7回	令和3年11月25日(木)	おしゃべりしない過ごし方等様々な方策
第8回	令和3年12月24日(金)	コロナ蔓延状況の中でできること

④ 広報活動

県立多々良沼公園管理等近くの「あずまや」で、お楽しみ会を続けておりました。「よってこ松沼」がランチ営業をしていれば、体操の後皆で食べに行きましたが、休業の間も、10人程度の皆さんが火曜日と木曜日の10時に集まって安否確認ができました。柔軟体操・ラジオ体操の後おしゃべりや歌、楽器の演奏、フラダンスを楽しみました。盛夏の中も木陰で、冬の寒い日も、穏やかな日差しの中で楽しい集まりができたことは、人と人との繋がりを切らさないひとつの成果であると考えます。

(6) グループホーム喜楽

① 運営推進会議

グループホームが閉鎖的にならないよう地域の方、ご家族、行政職員等で運営を検討しています。

開催日	R3.5.25	R3.7.27	R3.9.28	R3.11.24	R4.1.26	R4.3.22
	書面にて	書面にて	書面にて	事業所にて	書面にて	書面にて

② 家族会

例年は、GH喜楽・喜楽Ⅱにおいて年2回家族会を開催し、情報交換と家族間の交流を行っていましたが、今年度は開催せずに要望書を送り、ご意見を伺いました。

③ 職員会議を毎月、ケアプラン会議を奇数月の20時00分より開催しています。

	職員会議	ケアプラン会議
グループホーム喜楽	毎月1日 12回開催	奇数月14日 6回開催
グループホーム喜楽Ⅱ	毎月3日 12回開催	奇数月15日 6回開催

④ 避難訓練

- ・ 消防署の立ち会いの下での訓練 年2回

実施日	内 容
令和3年 6月26日	グループホーム喜楽Ⅱ 夜間想定訓練
令和3年11月27日	多機能ケアの喜楽 夜間想定訓練 ※内容を一部変更し、(株)SUBARUと河本工業(株)のご協力により「(株)SUBARU 北成島寮」(隣建物)への一時避難を行った。

- ・ 自主避難訓練 毎月第4土曜日 グループホーム、多機能で夜間想定。他部署では昼間想定で実施

(7) デイサービスセンター喜楽

- ① 家族のつどい 今年度は顔を合わせての会合が出来なかったため、アンケートを取りご意見を伺った。大変良い評価を頂いた。
- ② 春と秋の観光行事は、外出自粛のため実施できなかった。
- ③ 職員会議 毎月1回・・・全12回
- ④ 運営推進会議 グループホームと合同で開催 年2回
- ⑤ 避難訓練 毎月第4土曜日実施

(8) 多機能ケアの喜楽

- ①職員会議 毎月1回・・・全12回
- ②家族会 8月に計画したが、コロナのため中止し家族に対しアンケート実施。
- ③運営推進会議 グループホームと合同で開催 年6回
- ④避難訓練 毎月第4土曜日実施

(9) 地域密着デイの喜楽

- ①職員会議 毎月1回・・・全12回
- ②運営推進会議 グループホームと合同で開催 年2回
- ③避難訓練 毎月第4土曜日実施

(10) 訪問介護の喜楽

- ①学習会 毎回テーマを決めて学習し、サービス向上に繋げる。 年4回
- ②職員会議 毎月1回・・・全12回
利用者サービスのモニタリングと状況確認・日程等を調整する。

(11) ケアプラン介護相談の喜楽

- ・地域個別ケア会議 2回開催
「独居認知症の方の地域トラブルについて」
「徘徊認知症の方への対応」
行政、医療機関、関係機関とともに検討し、担当ケアマネとして関わりました。
- ・職員会議 毎月5日前後 全12回
- ・定例会議 毎週金曜日 全利用者を全職員が理解するために情報共有しています。
- ・情報交換会 毎月第1火曜日 各事業所の利用者情報を共有し、適切に振り分けます。
ケアプラン・多機能・認知症デイ・地域密着デイが合同で開催 年12回

(12) ボランティア慰問

本年度は新型コロナウイルス感染拡大により、ボランティア慰問はすべて中止になりました。